

～ちょっと違った目線で取り組んでみませんか～

保育・教育施設向け

+αの防災ガイド

園長先生がいないときに
地震が起きたら
どうする？

p2へ▶



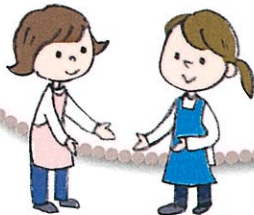
備蓄を見直そう

p3へ▶



地域やほかの園と
顔の見える関係づくりをする

p4へ▶



大規模な風水害が
起きたらどうする？

p5へ▶



「+α」に込められた想い ～保育・教育施設の園長先生・職員のみなさんへ～

「防災マニュアルは作ったし、訓練もちゃんとやっている。でも、いざ災害が発生したときに、きちんと子どもたちの命を守ることはできるのだろうか」そんなことを考えたことはありませんか。

「防災力」を高めるためには、発災時にどのようなことが起こり得るのか、そしてどのように行動すべきかについて、日頃から想像力を働かせ、考えておくことが大切です。

このリーフレットは、「発災時にどのように行動するか」という点にポイントを置いて作成しました。普通のマニュアルとはちょっと違うかもしれません。また、これまであまり意識してこなかったことや、ちょっとハードルの高いものもあるかもしれません。まずは、できるところから取り組んでみましょう。



+α 「いつでも」「誰でも」「同じように」 対応できますか？

大規模災害は時間帯を問わず発生します。

園長などの責任者が不在にしているときや、職員数が少ないとき、園外保育をしているときでもその場にいる職員で対応しなければなりません。そのためにも「初動対応マニュアル」を作成して職場内に周知し、統一した対応が取れるようにする必要があります。

*ここでいう「初動」とは、発災直後から数時間程度までを想定しています。

園長先生がいない！
どうしよう



何から
手を付けたら
いいんだっけ



今日は職員が
少ないわ



園外をお散歩中

例 ○○保育園(幼稚園) 初動対応マニュアル

園長は不在です。これを読んでいるあなたが責任者です。

指揮の責任者は園長ですが、園長が到着するまでの間、頑張って初期の指揮をとってください。

指揮をとる場合は行動順に行ってください。

- 1 子どもたちを「〇〇ルーム」(園内の安全な場所)に集め、人員を確認してください。
なお、園外にいる場合は周囲を確認し、子どもたちを安全な場所に集めましょう。
- 2 窓・扉を開けて出入口の確保をし、火を消してガスの元栓を閉めてください。また、安全が確認できるまでの間、電気・ガスを使用しないよう職員に伝えてください。
- 3 事務室内にある「〇〇保育園(幼稚園)初動対応マニュアル」を持ってきてください。
- 4 このマニュアルを読んでいるあなたが第1順位の責任者です。近くにいる人から第2順位の責任者、第3順位の責任者に指名しましょう。あなたがためらわずに指揮をとることが重要です。
- 5 園長の緊急連絡先へ連絡を入れ、現状を報告しましょう。
- 6 園外にいる場合は、可能であれば職員のうち1人を園に戻らせて、園に残っている職員に現状を報告してください。また、園にいる職員は、普段使っているお散歩ルートに行き、園外にいる職員や子どもの状況を確認してください。

それぞれ
園の状況に応じて決めましょう



備蓄や保管方法、園の設備を

もう一度確認してみませんか？

いろいろ便利な防災グッズが出ています。活用してみましょう。



常備品

こんなものがあると便利

園児用のヘルメット
折り畳みができて省スペース



太陽光発電のLEDランタン

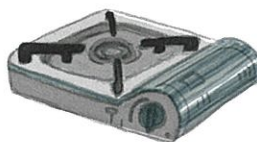


おんぶひも



「さらし」も緊急時には「おんぶひも」として使用できます。

カセットコンロ
野外でも使える防風コンロ



ソーラーパネルと蓄電池



ふりかけ
備蓄食料の味に変化をつける



氷砂糖(ブドウ糖)
子どもの口に入るサイズが確認



ようかん
日持ちがして子どもにも食べやすい



アレルギーを持つ子への対応

以下のような方法も検討してみましょう

- アレルギーを持つ子どももみんなと一緒に食べられるものを全員分揃える
- アレルギー対応の食品をアレルギーの子どもの分だけ備蓄する

こんなものもあります。→ アレルギー対応カレー



*お米やパンなどもあります

職員と共有しましょう

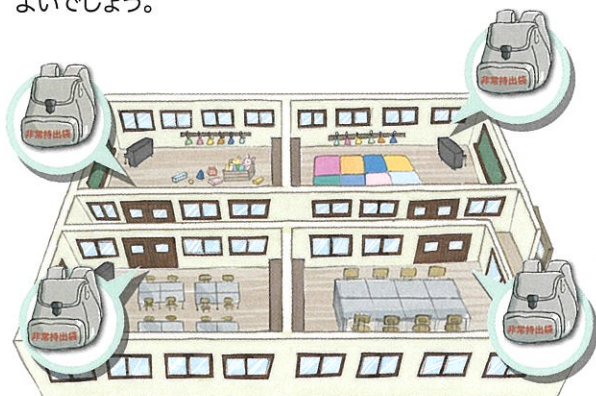
園内のどこに何をいくつ保管しているか、職員と十分に共有しましょう。避難訓練などを利用して、定期的に備蓄品を取り出して、有効期限の確認や内容を見直すことも有効です。

どこに保管する？

一か所にまとめて保管する場合は園舎が倒壊することも考えて防災備蓄庫の設置を検討しましょう。建物内数か所に分散して保管することも有効です。防災関係の連絡先、避難経路や避難場所を書いたもの、保護者の緊急連絡先の控えなどもまとめておくとよいでしょう。

園の設備も確認しましょう

- **情報収集・伝達手段**
防災ラジオ、テレビ、行政無線、施設内一斉放送システム
- **調理室**
冷蔵庫や食器保管庫などの固定やガスの元栓の場所を確認しましょう
- **建物・建具・ガラス戸・園庭遊具**
耐震耐火は大丈夫？
ガラス飛散防止対策は？
靴箱や、ピアノ、テレビなど大型機器は固定されていますか？
- **火元・消火設備**
電気コードやコンセントが老朽化したり壊れていませんか？
消火器はどの職員も扱えますか？
- **出入口・避難経路**
園内の避難経路は確認してありますか？



+α

防災マップを作りますか？

普段使っているおさんぽマップや園バスルート図に、いっとき避難場所、施設の近隣にある企業、マンション、保育園・幼稚園、さらにはブロック壁などの危険箇所などを書き込み、防災マップを作しましょう。また作成したマップを活用して、地域の方々と普段から「顔の見える関係づくり」をしておくことが大切です。



*防災マップを作成する際には、近隣の方々と十分に調整するようにしてください。

参考

地域防災拠点(指定避難所)とは

横浜市では、身近な市立の小・中学校等を地域防災拠点(指定避難所)として指定しています。神奈川区では小学校と中学校合わせて25校が地域防災拠点に指定されています。

地域防災拠点は、自宅が倒壊するなどにより生活ができなくなった場合に、一定の期間、避難生活を送るための場所です。また、地域の自治会・町内会関係者により構成される「地域防災拠点運営委員会」が運営を行っています。

保育・教育施設は発災時には、自園にとどまることが基本とされており、いわゆる「自助」の考え方の下、日頃から十分に防災対策を講じておくことが大切です。

一方で、地域防災拠点は様々な機能を有していることから、日頃から地域防災拠点運営委員会や地域防災拠点が実施する訓練に参加するなどして、「顔の見える関係づくり」をしておくといでしょう。

+α

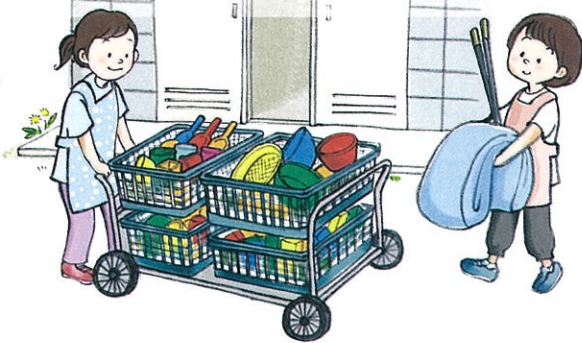
大規模風水害への 備えはできていますか？

近年、各地で発生している大規模風水害。地震とは違った対策が必要になります。日頃から施設の安全点検を行うことも大切です。



風水害時の対策 事前にやっておく事

遊具やシェード等、飛ばされる危険のある物は
屋内に入れておく。



台風などの情報収集を行い、
メールで保護者に向けて注意
喚起を促しておく。



窓やドアはしっかり施錠する。
カーテンは閉め、風による窓ガラスの飛散を防ぐ。
また倒木などの被害を防ぐために、園の周辺も
確認する。



備蓄庫から防寒グッズやその他必要な物を持っ
てきておく。閉園時間を越えての迎えも想定し、
十分に食料や水の準備も行っておく。



気象庁から**警報** ◀ 大雨警報・大雨特別警報、土砂災害警報などが発表されたら・・・

- 情報の収集・共有をこまめに行う。
- 各クラスで非常用持ち出し袋を準備する。
- 0歳児、1歳児は、〇〇組に集まり、窓から離れて待機。防災頭巾を装着。人数確認。
- 2歳児以降は、△△組に集まり、窓から離れて待機。ヘルメットを装着。人数確認。
- メールなどで保護者に連絡する。
- 順次迎えに来た保護者から、引き渡しを行う。

参考

横浜市防災計画 風水害等対策編

「横浜市防災計画」は横浜市の災害に対処するための基本的・総合的な計画です。その中で、「風水害等対策編」は風水害の予防、応急対策及び復旧・復興対策を実施することにより「被害を出さない地域・社会の実現」を目標として作られています。社会福祉施設における対策などが定められていますので、ぜひ活用しましょう。

+α の +α

保育・教育施設の置かれている状況はさまざまです。
このリーフレットに挙げた対策はあくまでも一例に過ぎません。
例えば以下の点などについても園内で話し合ってみましょう。

参考

! どういった災害がおきやすい地域に施設があるのか、確認しましょう。

「神奈川県防災マップ」が有効です。

! 横浜市から防災情報をEメールで受信できるようにしておきましょう。

! 発災時の職員の役割分担をあらかじめ決めておきましょう。

(例)

「情報班」……情報収集や関係機関との連絡など

「避難誘導班」……避難誘導、在園児数の把握、引き取り人の把握など

「救護班」……初期消火、救急用品の持ち出しなど

! 休日や時間外に発災した場合に、被害状況の確認のために
園に参集する職員をあらかじめ決めておきましょう。

(例)

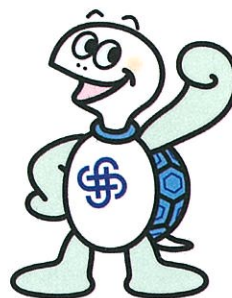
震度5弱の場合は園長が参集する

震度5強以上の場合は園長と主任が参集する

! 保護者への連絡体制を確認しておきましょう。

また、「災害用伝言ダイヤル171」の活用も検討しましょう。

*災害用伝言ダイヤルは毎月1日と15日に体験することができます。



! 発災後は、保護者が勤務先に留め置かれていることを想定し、
保護者以外にお迎えにくる人をあらかじめ把握しておきましょう。

このリーフレットは「神奈川県保育・教育施設防災対策検討会」が作成しました。

「神奈川県 保育・教育施設防災対策検討会」 検討委員

いずみ反町保育園 園長

第二白百合乳児保育園 園長

西寺尾保育園 園長

横浜市神大寺保育園 園長

学校法人横浜アイリス学園(白幡幼稚園) 理事長

横浜孝道幼稚園 参事

樋渡 利枝

柿原 建男

菱川 由美

羽山 志保子

木元 茂

小瀧 剛